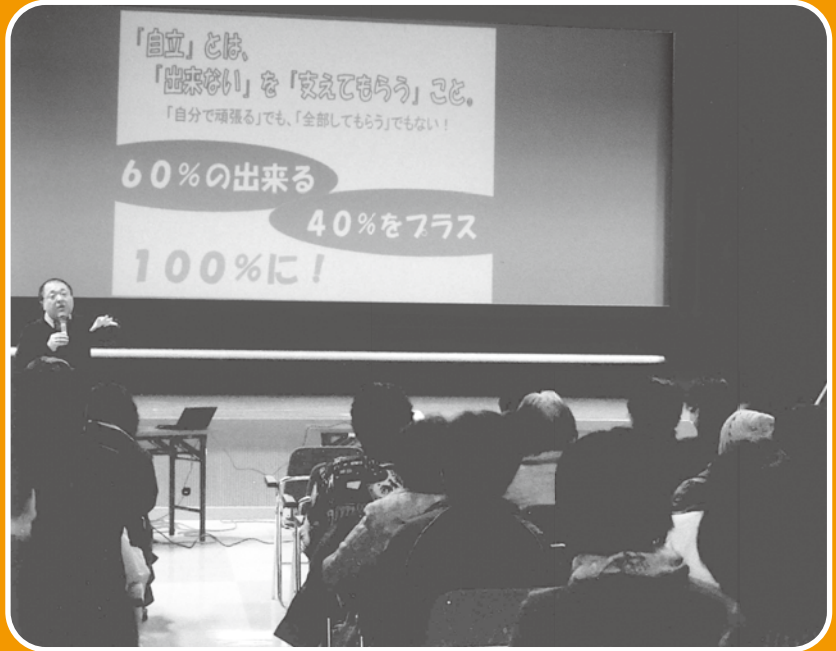


元気がわら版

庄原市社協だより2月号【Vol.142】

やっぱり比和が好き！！

— どんなに過疎化が進んでも、
みんなと助け合いながら比和地域で暮らして行きたい！ —



比和きずな会は、「お互いに助け合いながら自分達の健康は自分たちで守る」をモットーに活動されている自主団体です。

この度、ご近所福祉クリエーターの酒井保氏を講師に迎え、比和自治振興区と共催し福祉講演会を開催されました。酒井氏の講演から「どんな地域に暮らしたいか」を一緒に考え、学べる機会となりました。

社会福祉協議会は、これからも自治振興区や関係機関と協働し、元気が出る地域づくりをサポートしていきます。



P1.....福祉講演会

P2.....地域で暮らす～つなげる・つながる～

P3.....地域で暮らす～つなげる・つながる～

P4.....地域で暮らす～つなげる・つながる～

P5.....地域や団体の福祉活動応援事業

P6.....元気報告(東城)・ボランティア活動紹介

P7.....小地域サロン紹介(庄原・高野)

P8.....よろず相談・おでかけ応援隊寄付・高野の集い・ボランティア保険

P9.....寄付金紹介

P10...地域のものがたり(総領)・広告

～つなげる・つながる～

ています。今回は、福祉サービス利用援助事業「かけはし」を例に紹介します。

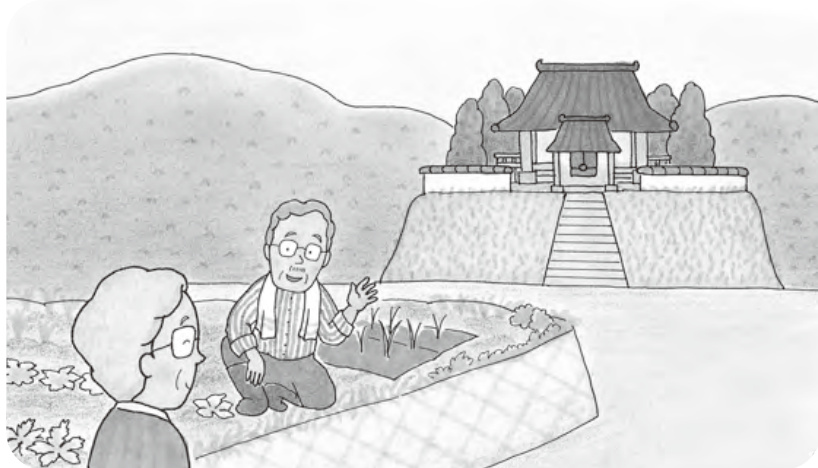
3 「かけはし」の利用から、正子さんに関わる人と話しあいを重ねる



生活支援員の久美子さんが、正子さんのお宅を訪問した際、いろいろな話をすることで、正さんの不安な気持ちが少しずつ和らいてきました。訪問をして気づいたことや気になったことは、社会福祉協議会の職員へ伝えていきます。関わる人が増えたことで、正さんの様子がより分かるようになり、離れて住む息子さんも以前より安心されています。

また、民生委員さんやサロンの場などでも、正さんの安心につながる言葉かけをみんなでしようと確認しました。

4 認知症になっても、地域で安心して暮らす



正さんは、楽しみにしているデイサービスに行き、ご近所さんと昔の話をしたり、大切にしているお寺参りに出掛けたりしながらひとり暮らしを続けています。

この地域では、正さんのように認知症かもしれない人の生活を支えるための話をしたり、認知症サポーター養成講座を開くなど、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりがすすめられています。

などの管理を行います。確定申告や契約、消費者被害の救済手続き、不動産の処見制度などにつなげながら、安心づくりをサポートしています。

じみの近所の人と関わり、安心して、地域でできるだけ長く暮らすお手伝い

地域で暮らす

庄原市社会福祉協議会では、地域で安心して暮らせるように、様々な事業を行っ

1 正子さん(78歳)の認知症がすすんできた



正子さんは、ご主人を亡くした頃から認知症が疑われるようになりました。ひとり暮らしに少し不安はあるものの、週1回のデイサービスや月1回地元のサロンに参加しながら過ごしています。

今のところ、日々の生活は安定していますが、「通帳がなくなった」と探すことが増えてきました。その度に、広島市内で暮らす息子さんへ電話をかけて相談し、息子さんも心配していました。

2 民生委員さんから、「かけはし」へ -正子さんの生活について、話し合い-



そんな正子さんを心配した民生委員さんから、社会福祉協議会に相談がありました。

そこで、正子さん、息子さん、正子さんの日頃の様子をよく知るサロンの世話人、ケアマネジャー、社協職員が話し合い、新たに「かけはし」事業を使った支援が始まりました。

社会福祉協議会が印鑑と通帳を預かり、定期的にお宅を訪問する生活支援員は、サロンメンバーでもあり、顔なじみの久美子さんをお願いしました。

「かけはし」では、①福祉サービスの利用支援②日常的な金銭管理③書類・通帳分など「かけはし」では支援できないことが必要になった時は、法律相談や成年後介護保険や福祉のサービスなどを利用しながら、地域の中でこれまでどおり、顔なをしています。

ここ
「地域で」できるだけ長く、最期まで暮らすために必要なこと

医療・福祉専門職に

医療・福祉専門職と

つなげる、
つながる、

見守りからはじまる「異変」への気づき

市内の各自治振興区では、民生委員、ひとり暮らし巡回相談員、老人クラブ等と連携して、『おたがいさまネット事業』をはじめとした見守り活動がすすめられています。訪問員を設置して定期的な訪問活動をしたり、隣近所のさりげない見守り活動に取り組むなど、各自治振興区で自分たちの地域に合った取組みが行われています。

しかし、見守りは、「見守り活動」として行われているだけでしょうか。庄原市内には、隣近所の助け合い・支え合いがある地域がたくさんあり、「見守り活動」とは言わない見守りも地域の中にあります。集金常会、草刈りや道普請などの共同作業、葬儀のことなど、組合（常会）務めとして日頃から行っている活動の中で、見守りにつながっていることもたくさんあります。

「〇〇さん、来とってんないね」

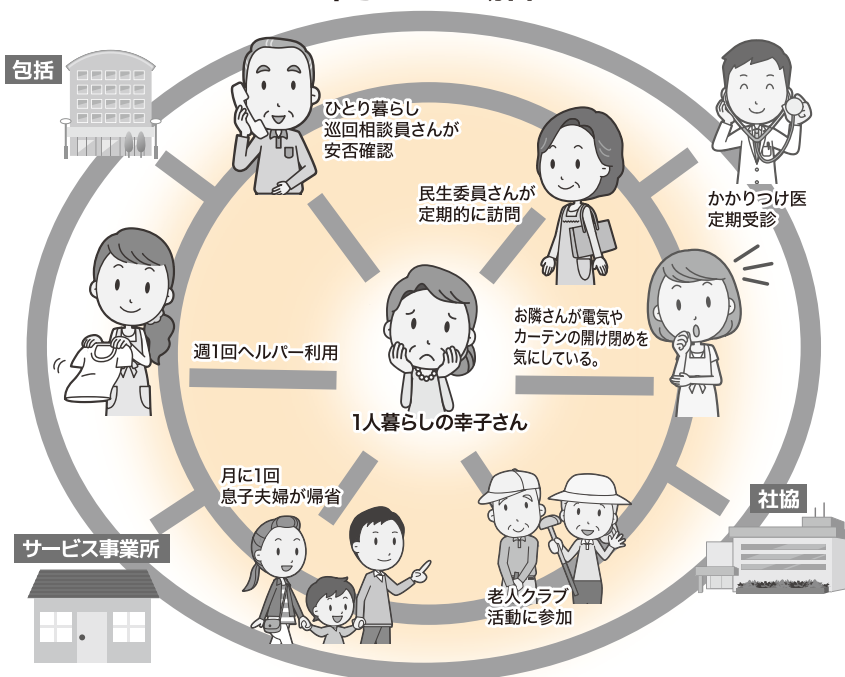
「そういえば、最近、顔を見んよね」

「どうしたんかのー？」

普段の暮らし、生活ぶりが分かるからこそ、「あれ？」「いつもと違うよね」という気づきが生まれます。

「気づき」から、必要があれば医療・福祉専門職へ

幸子さんの場合



地域住民は、地域のことをよく知っています。普段の暮らしの中での気かけあいによって、専門職だけでは分からない個人の困りごとや課題に、早く気づくことができます。

しかし、中には、訪問を拒否する方や関わり方が難しい方など、地域住民だけの見守り活動では関わりが難しい場合もあります。

そのようなときには、医療・福祉の専門職につなぎ、一緒に見守り、支えていきましょう。

市民活動・お互いさまの活動を応援

— 地域や団体の福祉活動応援事業 —

社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金配分金を財源に、地域の団体や民間福祉団体、グループが実施する地域の福祉課題解決に向けたボランティア活動、交流事業、啓発事業などを応援するため助成をしています。

次の3団体と比和きずな会（表紙）の計4団体の活動に助成しました。

第42回広島県知的障害者福祉大会・第15回はつらつ大会

第42回広島県知的障害者福祉大会（備北圏域大会）並びに第15回はつらつ大会（本人大会）を、10月9日（日）に庄原市民会館と庄原中学校で開催しました。庄原市では、広島カープの優勝と同じ25年ぶりの開催となりました。



知的障害者が、地域の中で安心して暮らせる社会をつくろうと県内各地から700名以上の参加者で盛大な大会となりました。

特に、庄原中学校でののはつらつ大会には、400名を超える参加者が、自分たちの願いや思いを出し合い、地域の中でどのように生活するのかを、真剣に討議しました。その中には、庄原市・三次市両市の担当者も出席を頂き、貴重な助言を賜り、有意義なものとなりました。

今後とも、多くの人たちの理解と協力を受けて、地域の構成員の一人として生きて行ける社会を目指す活動を続けて行こうと思います。

大会実行委員長 大田 徳三（庄原さくら学園・もみじ園保護者会長）

栗・平子自然探検隊

ふるさとの自然の中で、地域の方々とさまざまな体験を肌で感じ、地元の暖かさや楽しさを知ること、大人になって“西城へ帰りたい”と思える活動を目指しています。

地域に愛着を持った子どもを育てることが、将来地域の原動力となると信じ活動しています。



ひきこもり家族の会総領「てんとうむしの会」

活動を始めて一年余りになりました。毎月1回の定例会を中心に、広島ひきこもり相談支援センター相談員の個別相談のほか、おしゃべりを楽しみながら、情報交換をしています。

また、見学や研修などのお出かけや、東城の「つばさの会」との交流会も計画しています。

会員相互の交流や研修を重ねながら、会の活動の充実に努めています。



お問合せ：事務局 総領自治振興区
☎(0824)88-3067

東城地域センター 元気報告

認知症カフェ 「ええ塩梅」営業中！

毎月第4火曜日、午後1時30分から市役所東城支所1階ロビーでは、歌や体操を交えて大きな笑い声が響いています。

認知症カフェ「ええ塩梅」は、認知症の方や家族、支

援者など地域の人が自由に参加し、悩みなどを相談したり、交流しながら、地域へ認知症の正しい理解を広げることを目的に、認知症の人と家族の会「ほほえみの会」や町内の医療・介護職員などが協力して開催しています。

毎回、参加者全員で歌謡曲や唱歌を歌ったり、オリジナルの“ええ塩梅体操”を行いながら交流を深め、楽しい時間を過ごしています。

参加者の一人は、「経験のない人には分からない悩みもあり、ストレスも多い。ここでは気持ちも楽になる。」と話されていました。

「ほほえみの会」では、今後町内へ出張カフェを行いながら、参加者の輪を広げていく予定です。



ボランティア活動紹介

災害が起きたとき、「ごはんは、どうする？」

❖ 庄原市赤十字奉仕団の協力により、非常食体験

1月28日（土）、約100名が災害時の非常食を体験しました。

一度炊いたごはんを乾燥させた「アルファ米」のごはん。調理方法は、お湯を入れてかき混ぜて15分待つだけです。

誰でも、簡単に作ることができます。また、水の量を調整するだけで、ごはんと雑炊の2通りの食べ方ができます。

「2通りの食べ方があるのは、良かった」「想像したよりもおいしかった」という感想や、「庄原の乾燥野菜を非常食に活用したら？」という提案もいただきました。



❖ 非常食のレシピを募集します！

今回のごはんは、アウトドア用品店で購入することができます。しかし、非常食として「特別に」準備していなくても、カセットコンロがひとつあれば、ガスや電気が止まっても暖がとれたり、調理をすることができます。

そこで、ガスや電気が止まっても作れる料理、常備食で作れるごはんなど非常食のレシピを募集します！！

お近くの地域センターまでお知らせください。

まち わたしの地域の小地域サロン

～ いろんな地域のサロン活動をご紹介します ～

もりとう会(庄原・三日市町)

● 活動を始めたきっかけ

常会の総会終了後の雑談中「毎月顔を合わせる機会がないよのお」「月1回ぐらい地域のもんが気軽に集まって話しをすりゃあいいよのお」「まずは集まる機会の少ない男性から集まることを始めてみようやあ」という会話がきっかけとなり、平成22年にサロンが立ちあげられました。

集会所をもたない常会であったことや、堅苦しくなく気軽に集まって交流を図りたいという思いから、場所は森藤さんのお宅をお借りし、サロン名も「もりとう会」と名付け、昨年12月には、めでたく80回目を迎えました。



● サロンのイチオシ

なるべく多くの方が参加出来るようにと、サロンは仕事や農業の忙しい日中ではなく夜に行い、日頃の労を労いながらの情報交換やカーブ観戦などの交流に加え、『仲間と老いを支える』をモットーに、折に触れ高齢者世帯への非常時（健康急変・防災など）の助け合いについての話し合いや、地域内でのさりげない見守りの意識づけを行っています。

その他、地域行事で使うホテル採りのボトル提灯づくりや、女性も誘っての日帰り旅行、花見など、地域の方が参加しやすい行事も随所に織り交ぜ、地域づくり、仲間づくりをすすめています。

あすなろサロン(高野町和南原)

● 活動を始めたきっかけ

農繁期は忙しく、なかなか集まる機会もなく、さみしく思っていました。「農業が忙しくないこの時期なら…」と、平成24年4月からサロンを始めました。

普段の心配や、声のかけ合いはしているけど「やっぱり、顔を見て話をするのが1番!」と、今では月に1回地域のみんなで声をかけ合い集まっています。



● サロンのイチオシ

「若い人とも一緒に集まれる事が大事!」と、高齢者だけではなく、若い人の都合も聞いて、日程を調整しています。



手芸や体操のほか、バーベキューや食生活改善推進員協議会とコラボで料理教室なども行っています。手作りの料理や漬物物オードブルを持ち寄り、ワイワイと集まっています。

「元気でおろうよ～」と声をかけあい、少しでも地域の活力になれるように、みんなで楽しく過ごせる温かいサロンを目指しています。

よろず相談 のご案内



相談は無料で、24時間365日職員が対応しています。なお、夜間から早朝（緊急時等）は、下記の専用電話にご連絡いただくと担当者に取り次ぎます。

緊急時等専用電話 ☎080-5239-4085

- 法律相談（弁護士相談）
※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
 - 日時：3月3日（金）12:45～15:45
 - 場所：庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5-26）
 - 相談内容：賃貸に関するトラブル、交通事故、相続、離婚、借金問題、消費者トラブルなど
- 司法書士相談
※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
 - 日時：3月15日（水）13:00～16:00
 - 場所：庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5-26）
 - 相談内容：不動産の名義変更、相続登記・遺言、借金の整理、成年後見、会社の登記、簡易裁判所訴訟代理など

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

地域福祉課 ☎(0824)72-7120

お知らせ

高野地域の 支えあいの集い

誰もが安心して暮らし続けられるような地域をめざし、私たちにできること、地域に必要な取組みについて一緒に考えましょう。

- 日 時：平成29年 3月19日（日）
10:00～12:00
- 場 所：高野保健福祉センター
- 内 容：中学生の意見発表や地域活動など、未来へつなぐ活力ある取組みの発表

*** お問い合わせ ***

庄原市社会福祉協議会 高野地域センター
☎(0824)86-3044

1月1日から31日までの間に、おでかけ 応援隊活動に協力いただいた皆さんです

庄原地域

四水 薫様(2口)/サロンドメイプル様
すずらん歯科クリニック様/(有)中元精肉店様
村田 将様/ダイハツ広島販売(株)庄原店様
かつら動物病院様/つむら動物病院様
匿名様/(株)マルサン様
岡動物病院様/八谷歯科クリニック様
ラーメンギョーザ風龍様/高橋歯科医院様

東城地域

中国料理 北京様/(株)齊藤組様
(有)三上薬品様(2口)/日伝医院様
名越製麺(有)様/(株)清水商店様
(有)森永クリーニング様/ウィー東城店様
(有)池田モータース様/ちとせ洋品店様
味処 赤とんぼ様/三上クリニック様
生熊歯科様(2口)/日東粉化工業(株)東城工場様(2口)
山形建設(株)様/広島ガス住設(株)様

協力いただいた皆様、
ありがとうございます。

協力いただいた方の
店舗・自宅に、この
ステッカーを貼っていただいております。



ボランティア活動保険の ご案内

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

- 加入できる人
ボランティア個人またはボランティアグループ、特定非営利活動法人（NPO法人）
※社会福祉協議会に登録しているか、または社会福祉協議会から委嘱されていることが必要です。
- 保険金をお支払いする主な例
 - (1) ケガの補償
 - ・活動中、転んでケガをした
 - (2) 賠償責任の補償
 - ・活動中、誤って花瓶を落として壊した
 - ・活動中、誤って相手にケガをさせてしまった
 ※自宅と活動先までの往復途上を含みます。

● 保険料	年間保険料	Aプラン	Bプラン
	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ	500円	710円

詳しくは、地域福祉課 ☎(0824)72-7120
またはお近くの地域センターまで

市民レポート

地域のものがたり



ふるさとへ

●レポーター名 総領町にお住まいの 田上 トシコさん

3年前、住み慣れた兵庫県から生まれ故郷へ実の姉妹の看病のため、50年ぶりに移住することになりました。何も分からない私たちに町内の方々が、惜しみなく力を貸してくださり、何とか乗り切ることができました。ほどなく、長年連れ添った主人と姉妹が亡くなりましたが、今では、こちらの生活にも慣れて地域の集いの場や老人会のほか、同好会のグランドゴルフ、こぶし会のカラオケに参加し多くの友達もできました。

兵庫県にいた時よりも参加できる会や、レクリエーション（史跡めぐり、映画鑑賞、野球観戦など）が沢山あり、老後を楽しんでいます。

兵庫の友達も、田舎の一人暮らしは寂しいだろうと心配してきていましたが、今では私の話を聞いて、「行政や地域の人たちが高齢者を大事にする良い町だね」と羨ましく思っています。

こんな町にいつまでも健康で暮らしたいと思うようになりました。あと十年若かったらなーと思える自分が幸せだと思います。

庭の草抜きや墓守りなど、やるべきことは沢山ありますが、遊びにも忙しい毎日がとても充実しています。



広告 **ゴミでお困りのことなら、なんでもお気軽にご相談ください!**

家の片付け・遺品整理・引越し等で、お困りのゴミについてお客様にピッタリのプランをご提案いたします！
見積もり・相談無料！

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.fukuokasangyo.co.jp>

有限会社 福岡産業 親切・丁寧・安心を大切に！
広島県庄原市宮内町707-1
一般廃棄物収集運搬業許可 庄原第101号 TEL: 0824-73-1102
産業廃棄物収集運搬許可 03418048979号 FAX: 0824-73-1103

広告 **相続、成年後見、空き家問題等でお困りの方はご相談ください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士 検索

司法書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

広告 「この社会あなたの税がいきている」

—インターネットで申告・納税できる— **利用推進運動中**

e-Tax (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>

公益社団法人 庄原法人会

めざます よき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
H P <http://www10.ocn.ne.jp/~shk/>